

ウミスズメの繁殖地を探せ！ 三陸沿岸の海上目視・音声調査

森野千里・小島達樹・小澤光莉 東洋大学大学院 生命科学研究科

背景とこれまでの研究

- ウミスズメ *Synthliboramphus antiquus* は、絶滅危惧IA類に指定される希少な潜水性海鳥であり、その保全は非常に重要です。
- 現在の繁殖地は、北海道の天売島のみで確認されていますが、かつては岩手県の三貫島周辺でも繁殖していたとの記録があります。



図1 ウミスズメ

- これまでの研究活動では、岩手県大槌町および釜石市周辺の沿岸で、繁殖期間に相当する4月から6月にかけて陸上からの観察で、繁殖羽を有する成鳥を一度に最大で600羽以上も確認することが出来ました。試験的に実施した大洗ー苫小牧間および青森ー室蘭間のフェリー目視調査では、東北地方近海で繁殖期に多数のウミスズメ成鳥を確認しています。
- 三陸地域にはかつて繁殖記録があるものの、近年繁殖情報が得られていない三貫島や日出島が存在する他、本種の繁殖適地となり得る島が多数存在しています。しかしながら、海上や島での本種の調査は全く行われておらず、正確な分布状況や繁殖の有無は依然として不明です。

目的

【ウミスズメの生息個体数把握と分布域の調査】

- ・ 東北地方沿岸における本種の生息個体数を把握
- ・ 本種の時空間的な分布変動の明確化

【東北地方沿岸におけるウミスズメの繁殖確認】

- ・ 繁殖適地周辺での昼夜の目視・音声情報を収集
- ・ 求愛行動や鳴き交わし声、巣立ち雛を連れた成鳥の確認



調査方法

■ フェリー航路と湾内での目視調査

【湾内ツアー船による調査】

ウミスズメの繁殖期である4月から7月にかけて、集中的に釜石湾と宮古湾でツアー船やチャーター船を利用した昼夜の目視・音声調査を実施する。

【フェリー航路による調査】

大洗－苫小牧および青森－室蘭航路のフェリーを利用し、東北地方沿岸の広範囲にわたる海上目視調査を通年に渡り実施する。基本的に各月最低1回、本種繁殖地の4－7月については複数回実施する。

【記録項目】

観察位置、日時、個体数、状態（繁殖羽の有無・雛の有無・着水・飛来・潜水、鳴き交わし声の有無等）

* データは集計・統合し、QGISを用いて分布マップとしてまとめる。



図2 海上目視範囲

予想される成果

■ ウミスズメの正確な分布域および生息数の把握

→ 東北地域沿岸における通年にわたる本種の時空間的な分布を明らかにし、その生息状況の把握、保全に貢献することが出来る。

■ 繁殖の確認

→ 沿岸海域において、鳴き交わし声の記録や親鳥が雛を連れている様子の観察が出来れば、現在唯一の本種繁殖地である北海道天売島以外で、**繁殖活動が行われていることを示す重要な証拠**を得ることが出来る。

■ 生態学的重要海域の選定への貢献

→ 調査では、本種の詳細情報の他、アホウドリを含む多種の希少海鳥の情報を通年にわたり広域で得られるため、**我が国が目指し進めている生態学的重要海域の選定設定に対して、極めて有用なデータ提供が出来ると期待される。**

* 本研究は、伊藤元裕准教授（東洋大）と先崎理之准教授（北大）にご指導いただき実施します。

助成金の使用用途

フェリー乗船費、傭船費および交通費の他、調査機材の購入費に充てる予定です。
ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。